か

5 兀

まるとされている。

節

気

を

調

べ

る

染

み

分 几

の

つ。

年

はこ

の

立

そ

|節気と

う

年

を二十四

かぶ。

「立春」

は二十

F

第340

## 便利な世の中に 不便な温かさ

ると席

0

番号

が

紙 を

に 入

印

通

どうやら人数

力

ると目に

入っ

ん

が

13

の

П

L

ぶりに

行

つ

りに番号の されるようで、

振ら

いれた席 案内の

注

一文はタッチパ

ネル

で

席に運んでくれ

る。

か

新芽を発見 立春 芽を発見すると、 柔らかさやそっと芽吹く木々 冷たい空気 も過 ぎ の 暦 中 の そんな言葉 で 上 4 では 日差 もう し 春 の

あ に 0 \$ るという。 深い 立夏や白露とい 立春や夏至、 どれも、 春 分など った名前 の

### 閣 水

ような、 れ ぞ 月 れ に の は、 細 時 やかで美しい 節 0 春 空気 の 後 んが感じ 名前 雨 ら だ れ 見るだけで が 他

が続く。 を味わう豊 (うす と に け 解け 情 か いう。 解 で、 ؿٚ 景 け、 に が , A 思 積 降る雪が 繊 はじまる頃を表 」と名 地 P その言葉を口に 細 か を さを感じな 面 つ な 馳 た 季節 を けせる。 潤 雪 「づけら 雨 「がゆ す へ と の 情 移 景が してい 変わり、 が り変わ っくり雨 れた季節 しただ 5 思 ŋ る

# 心のタッチ

入ったところで店 転寿司のお店。 なくて戸惑って たのは た近 受付 員 61 所 世 す すこともなくお店を後 ばかり。 ることになり、 飲 の 中になっ 食店の人手不足 たなあ

لح

驚

でした。 題と 技 て 術 b は想 ここまで人がいなく お なっているそう 店を回せる現代 像 を超えるも です が 問

とさえ思ったほど。 代が来るのかもしれ どころ もし 見ることもなくなる L うたら、 かし か 言葉を交わ 店員さん たらあ غ の顔 な 何 す 年

食事 金額

んだらセルフレ 面に表示され、

<u>ع</u> で

は お が は

度も言葉を交わ

숲 済 画

計。

結局店員さ

発行所 文通村事務局 便 編集 広報部 利な 千葉県成田市

風船便

差出人名を書くだ

そ んな中、 また別 0

と書いて、あろりとは、事のと

局宛の返信 用封筒に同

封下さい。 今までにな

い交流の始

です。

まり

お店。 行った昔 か 5 ó なじみ  $\mathbf{H}$ 

の

り昔 出 久しぶりと さんが出迎 ネ れ ました。 L ル セ なそのお店は、 ルフレ から べ は ル お もな の ろ なじみ か、 ジや 声 えてく を 席 タ か ア 'n の の ッ けてく チ Þ ナ 呼 店 は 口 び お 員

か

さ

のような

魅

力を

感 温

上

一で公開

L 11

た

ま

文できないこともあ ているので、 少ない人数でお店 すぐに注 いれば、 を П

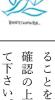
ば と お ればい 会計 はまた違う、 しば。それでも 風に揺られて誰かに届け で けないことも し 風船便はいつでもご取取している。 風船便はいつでの受取します。 規の方へ優先されます。 誰に届くかは風次第・・・・。 送り 方は簡単♪下の風船便切った を切り取って手紙に貼り宛名 に「風船便を受け取った方へ」 に、「黒いて、美虫人名を書くだ ば らく 人の 「便 待たな 刹

より感じられるように らこそ、 ないお じられました。 「人の接客」 めた技術 便利であることを どちらがい 店の良さ。 当たり が生ま の とは 温 前 血かさを だ れ そ たか 突き になっ つ れ 言 た で え

た気がします いものです。 便利な世の 片隅に残り続 「不便な温 中。 かさ」 けてほ そ 2 な ح

中

での



ポ

ストに投

# 目

標

を 2 月 16 (みんなの投稿冊子) 年 恒 日に文通 例 今年 村 Ó 朩 **一 目** 

## 今 年

ムペー ジ

### 次 L 回

合はそれぞれ ることをお近くの郵 22日までに事務 送りたいお手紙がある場26日(月)の予定です。 3月の発送は11日 8 の郵便に到 I また は 月 局で